

(8) 大度海岸

1) 第 1 回調査(平成 27 年 10 月 27 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-38 に示した。調査日当日には降雨が観察されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

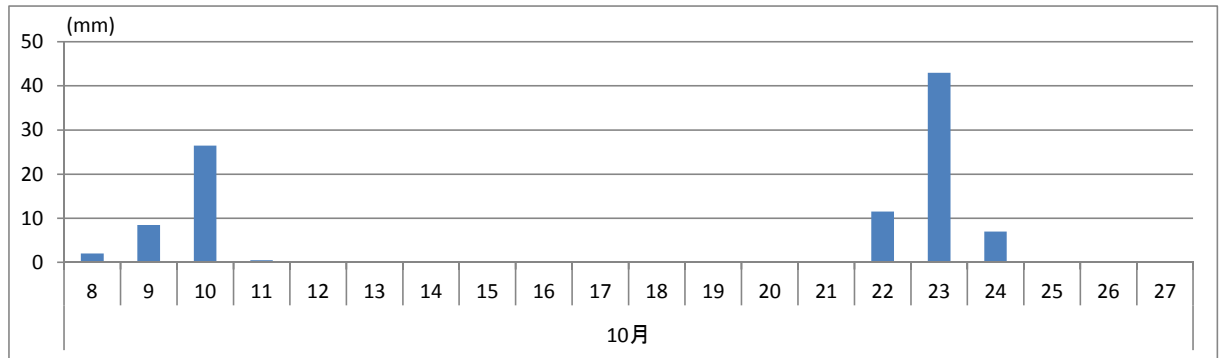


図 4.4-38 調査日前 20 日間の降雨状況(糸数観測所)

- ・ 大度排水路においては、流量も少なく、濁りも殆ど確認されなかった(地点)。
- ・ 地下ダム施設沖の湧水箇所においては、湧出していたが、濁りはほとんど無く、海域への濁水の流出は確認されなかった(地点)。



地点① 大度排水路(濁り無し)



地点② 地下ダム沖の湧水(濁り無し)

- ・ 流域内には、様々な畑が広がっているが、昨年度同様、畑の端に構造物を設置するタイプのものが多数見られた(地点)。対策がされた畑の一部分で、構造物横などから赤土流出が見られたため、降雨時には一部流出する可能性が考えられる(地点)。



地点③ 畑端の対策(葉野菜栽培)



地点④ 対策構造物を越えて赤土流出



地点⑤ 畑端の対策



地点⑥ 対策構造物の一部から赤土流出

- ・ 地点 〇〇 は、過年度調査において、流出可能性が高い地点として確認されたが、このうち、地点 〇〇 では草本が覆い流出可能性が減少したが、地点 〇〇 は依然として流出可能性が高い状態にあった。



地点⑦ 草本が茂り流出可能性が減少した



地点⑦ 昨年度の状況



地点⑧ 流出可能性が高い箇所



地点⑧ 昨年度の状況



地点⑨ 流出可能性が高い箇所



地点⑨ 昨年度の状況

- ・ 地点⑩において、H26年度から造成されていたビニールハウスは、本調査時には完成していた。造成時に比べると裸地は大きく減少していたが、依然としてその周辺には裸地が残っていた。



地点⑩ ビニールハウス周辺の裸地(改善)



地点⑩ 昨年度の状況

- ・ 本調査時には、橋梁工事が行われていた。沈砂池対策等が行われており、赤土流出の可能性は無いと考えられる(地点⑪)。



地点⑪ 沈砂池による対策



地点⑪ 橋梁工事赤土流出防止に係わる看板

- ・ また、地点⑫では沈砂池造成工事が行われていた。近接する浸透池は、著しい大雨時には水没することがあり(例えば平成25年5月、平成17年6月)、それを踏まえての増築であると考えられる。



地点⑫ 沈砂池・圃場工事状況



地点⑫ 沈砂池・圃場工事看板



地点㊫ 平成 25 年 5 月浸水状況



地点㊫ 平成 17 年 6 月浸水状況

(上記平成 25 年、平成 17 年の写真は、沖縄県衛生環境研究所提供)

2) 第2回調査(平成28年1月22日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-40に示した。調査日当日には3.0mmの降雨しか確認されなかったが、前日には59.0mmの降雨があったことから、降雨後の陸域調査として実施した。

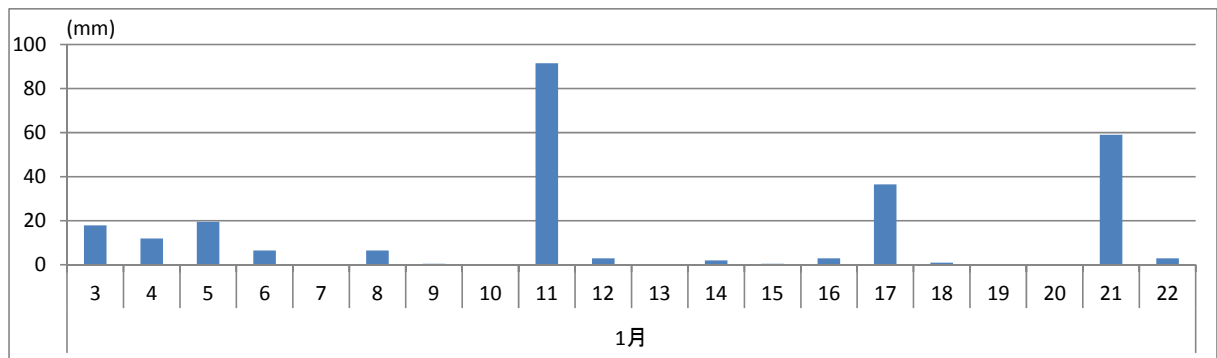


図 4.4-40 調査日前20日間の降雨状況(糸数観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-41 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

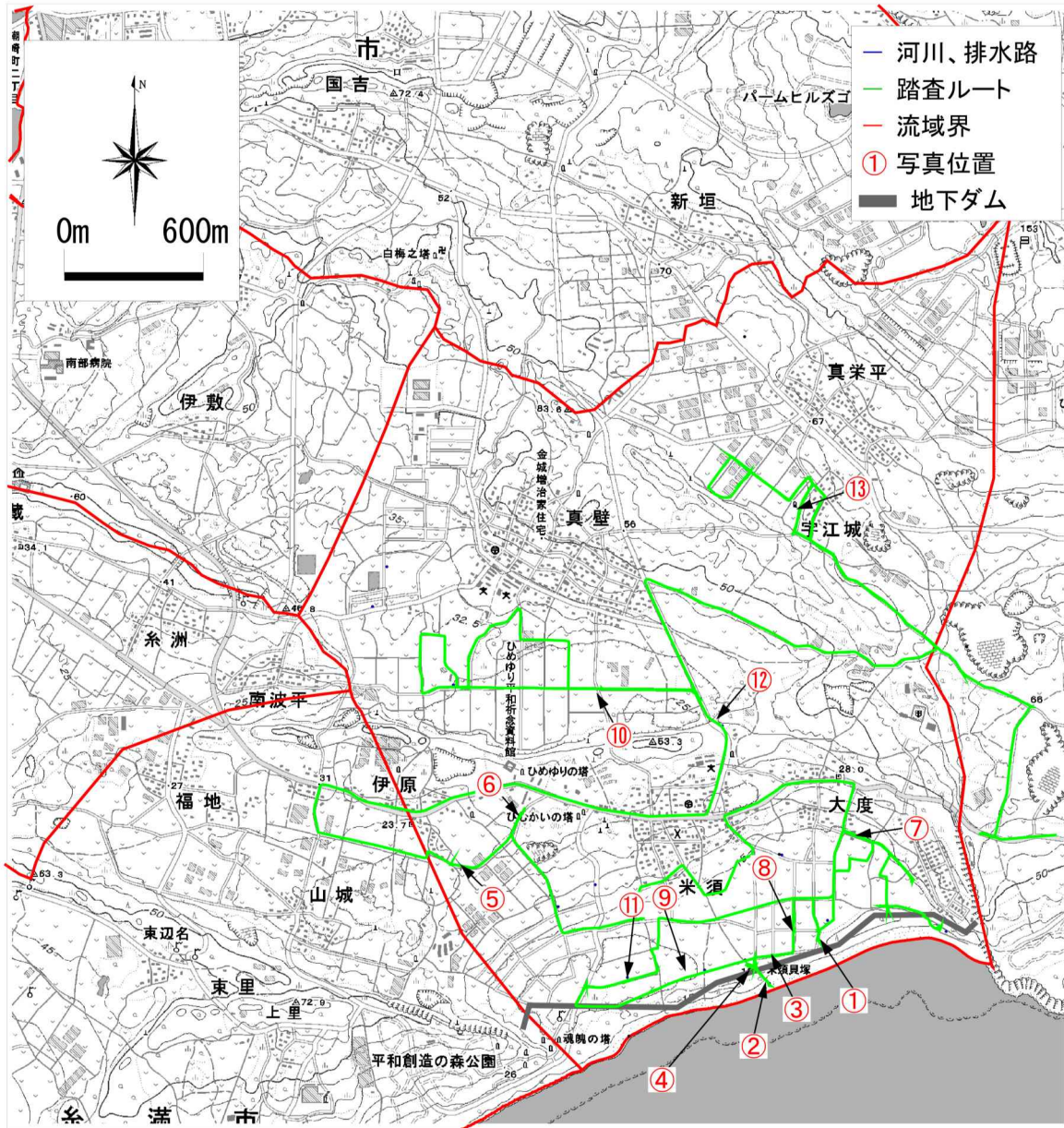


図 4.4-41 大度海岸 陸域調査位置図(2回目)

- ・ 大度排水路においては、流量も少なく、濁りも確認されなかった(地点)。
- ・ 地下ダム施設沖の湧水箇所においては、濁水が湧出しており、流量も多く濁水が海域へと広がっていることが確認された(地点)。採水したところ、濁度は 22.2(度)であった。



地点① 大度排水路(濁り無し)



地点② 地下ダム沖の湧水(濁り有り)が海域に拡散



地点② 採水状況

- ・ 流域内には、様々な畑が広がっているが、畑の端に構造物を設置するタイプのものが多数見られた(地点)。対策がされた畑の一部分で、前回同様に構造物横などから赤土流出が見られたため降雨時には一部流出する可能性が考えられる(地点)。



地点③ 畑端の対策(葉野菜栽培)(変化無し)



地点④ 構造物を越えて赤土流出(変化無し)



地点⑤ 畑端の対策(変化無し)



地点⑥ 構造物の隙間から赤土流出(変化無し)

- ・ 地点 ⑤ は、過年度調査において、流出可能性が高い地点として確認されたが、このうち、地点 ⑤ では草本が覆い、赤土流出可能性は無くなったが、地点 ⑥ は依然として流出可能性が高い状態にあった。また地点 ⑥ においては、畑から水路へ赤土が流出していることが確認された。



地点⑦ 草本が茂り流出可能性が無くなった



地点⑦ 前回状況



地点⑧ 流出可能性が高い箇所(変化無し)



地点⑧ 昨年度の状況



地点⑨ 流出可能性が高い箇所(変化無し)



地点⑨ 昨年度の状況



地点⑩ 水路への赤土流出(新規)

- ・ H26 年度から造成されていたビニールハウスは、その周辺に裸地が目立ち、道路沿いの水路に土砂が堆積していた(地点)。



地点⑪ ビニールハウス周辺の裸地から水路へ流出



地点⑪ 前回状況(前回地点⑩)

- ・ 前回は行われていた橋梁工事が、本調査時にはほぼ完了していた。沈砂池対策等が行われており、赤土流出の可能性は低いと考えられる(地点)。



地点⑫ 沈砂池による対策(底に土砂堆積)



地点⑫ 前回状況(前回地点⑪)

- ・また、地点 ⑬ では前回調査時に確認された沈砂池圍場工事の追加工事が継続して行われていた。なお、赤土等流出防止条例に係る看板は掲示されていた。完成後は、大雨時においても対応できる赤土等流出防止効果が期待される。



地点⑬ 沈砂池・圍場工事状況



地点⑬ 前回状況(前回地点⑫)



地点⑬ 沈砂池・圍場工事状況



地点⑬ 赤土流出防止条例に係る表示